

# 子育て環境に対する意識に関するアンケート調査結果

子育て支援課

## 1 調査目的

県では、少子化対策は社会全体で取り組むべき課題であるとの認識に立ち、「安心して子どもを生み育てることができる岐阜県」を目指して各種施策を推進しています。

今回、子育て環境に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の少子化対策に関する取り組みの基礎資料とさせていただくため、調査を実施しました。

## 2 調査対象等

調査対象：県政モニター803人（うちインターネットモニター498人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和4年6月20日～7月11日

回収結果：755人（回収率 94.0%）

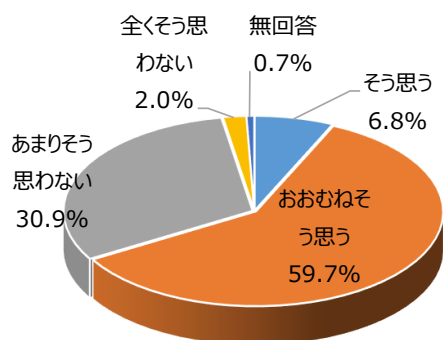
その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

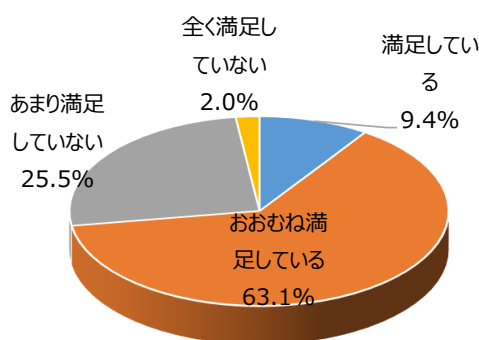
## 3 結果概要

### ○岐阜県の子育て環境について

・岐阜県は子育てにやさしい社会であるか



・岐阜県で子育てをしていること、または子育てをしたことについて満足しているか



### ○出産や子育てに関して不安が増していること

新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、出産や子育てに関して不安が増したことは、「家族の健康に関する不安」が46.9%と最も高く、次いで「休園（校）による保護者の負担」が42.7%となっている。

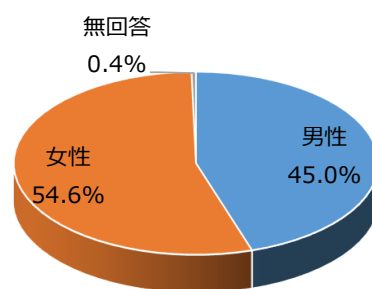
### ○仕事と子育ての両立について

男女ともに働きながら安心して子育てできるために、何が必要かについて、「多様な働き方ができること」が31.5%と最も高く、次いで「子どもの預かり先、サービス内容の充実」が22.2%となっている。

#### 4 回答者属性

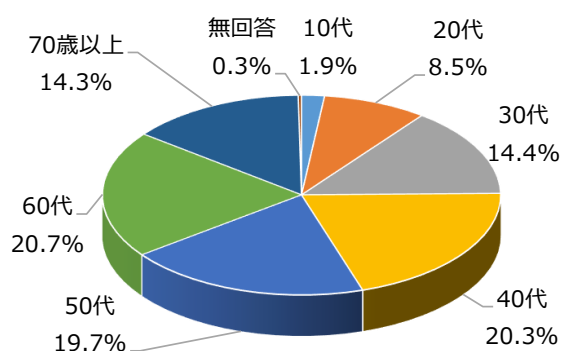
##### (1) 性別

	人数	構成比
男性	340	45.0%
女性	412	54.6%
無回答	3	0.4%
合計	755	100.0%



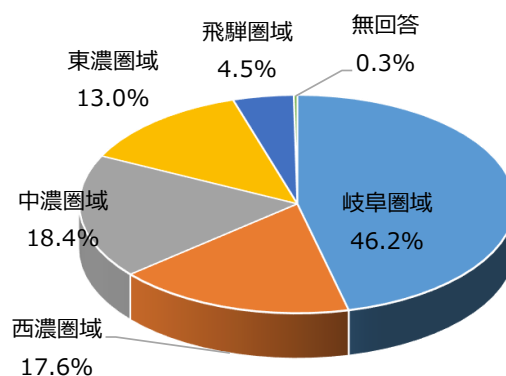
##### (2) 年代別

	人数	構成比
10代	14	1.9%
20代	64	8.5%
30代	109	14.4%
40代	153	20.3%
50代	149	19.7%
60代	156	20.7%
70歳以上	108	14.3%
無回答	2	0.3%
合計	755	100.0%



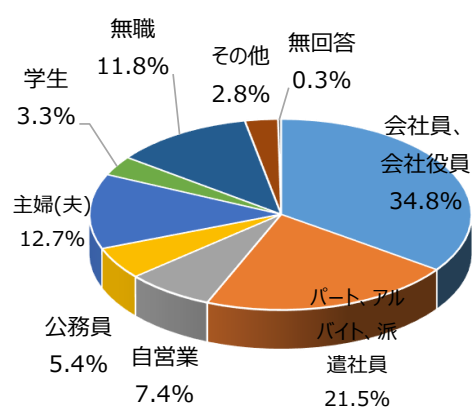
##### (3) 居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	349	46.2%
西濃	133	17.6%
中濃	139	18.4%
東濃	98	13.0%
飛騨	34	4.5%
無回答	2	0.3%
合計	755	100.0%



##### (4) 職業別

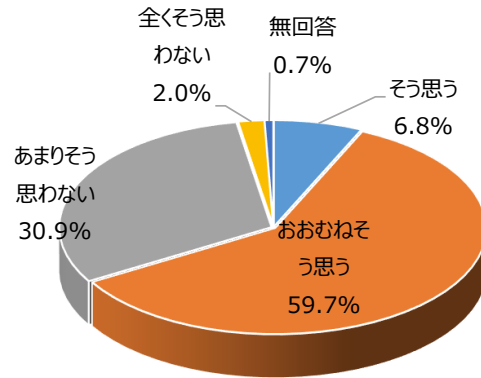
	人数	構成比
会社員、会社役員	263	34.8%
パート、アルバイト、派遣社員	162	21.5%
自営業	56	7.4%
公務員	41	5.4%
主婦(夫)	96	12.7%
学生	25	3.3%
無職	89	11.8%
その他	21	2.8%
無回答	2	0.3%
合計	755	100.0%



## 5 調査結果

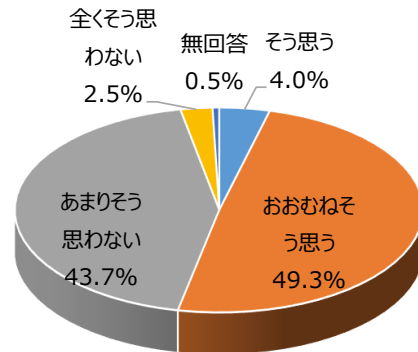
問1 あなたは、岐阜県が子育てにやさしい社会だと思いますか。

	人 数	構成比
そう思う	51	6.8%
おおむねそう思う	451	59.7%
あまりそう思わない	233	30.9%
全くそう思わない	15	2.0%
無回答	5	0.7%
合 計	755	100.0%



問2 あなたは、岐阜県が結婚・出産・子育てについて、夢や希望を持ったり、楽しい・頑張ろうなど、前向きに考えることができる社会だと思いますか。

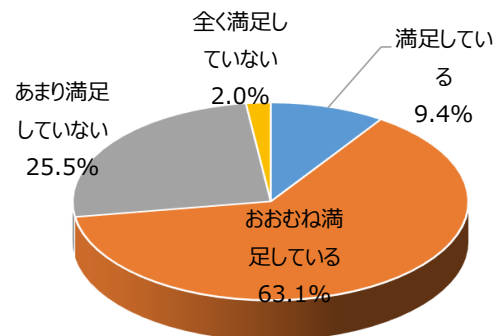
	人 数	構成比
そう思う	30	4.0%
おおむねそう思う	372	49.3%
あまりそう思わない	330	43.7%
全くそう思わない	19	2.5%
無回答	4	0.5%
合 計	755	100.0%



問3 あなたは、岐阜県で子どもを育てていること、または育てたことに満足していますか。

(子育て中及び子育て経験者／回答者596人)

	人 数	構成比
満足している	56	9.4%
おおむね満足している	376	63.1%
あまり満足していない	152	25.5%
全く満足していない	12	2.0%
合 計	596	100.0%



問4 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、出産や子育てに関して不安が増していることはありますか。

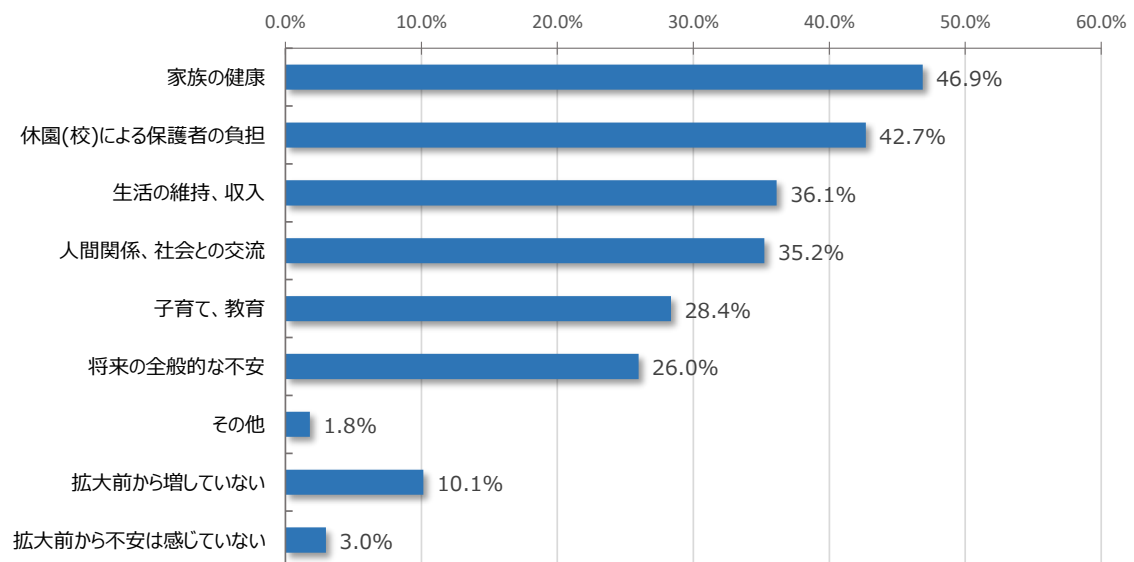
(子育て中の方 回答者335人)

(複数回答)

	回答数	構成比
家族の健康に関する不安が増した	157	46.9%
休園(校)や学級閉鎖等による保護者の負担への不安が増した	143	42.7%
生活の維持、収入に関する不安が増した	121	36.1%
人間関係、社会との交流に関する不安が増した	118	35.2%
子育て、教育に関する不安が増した	95	28.4%
将来に対する全般的な不安が増した	87	26.0%
その他	6	1.8%
不安はあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大前から増してはいない	34	10.1%
新型コロナウイルス感染症の拡大前と変わらず、不安は感じていない	10	3.0%
合 計	771	

その他の意見 (主なもの)

- ・ 子供同士のコミュニケーションが減ったので、コミュニケーション力が上がっていないと思う。
- ・ 学校行事が減ったこと。特に修学旅行では当初予定されていた場所へ行くことが出来ていない。
- ・ 子どものマスク着用で、酸素不足、口呼吸、表情が分かりにくい、熱中症、マスクをしていないことへの偏見などが心配。



問5 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、これから結婚・出産・子育てを迎える若い世代が、結婚や家庭を持つことについて夢や希望を持てる社会にするためには何が必要だと思いますか。

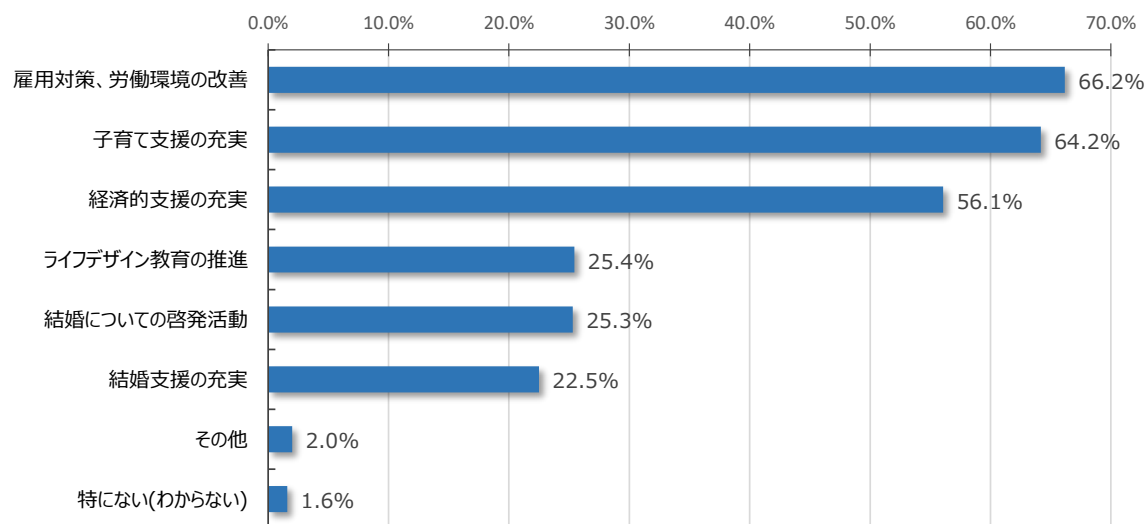
(回答者751人)

(複数回答)

	回答数	構成比
雇用対策、労働環境の改善（若者の就労支援、テレワークの推進など）	497	66.2%
子育て支援の充実	482	64.2%
経済的支援の充実（結婚祝金、出産祝金の給付、住宅取得に対する助成など）	421	56.1%
ライフデザイン教育の推進（若者が自らの人生設計を考える機会の提供）	191	25.4%
若者が結婚を肯定的に据えることができるような啓発活動の推進	190	25.3%
婚活支援の充実(男女の出会いの場の提供)	169	22.5%
その他	15	2.0%
特にない（わからない）	12	1.6%
合 計	1,977	

その他意見（主なもの）

- ・ 出産については一時的にでも出費が無いことが重要
- ・ 支援制度などの所得制限を無くしてほしい
- ・ 教育の充実
- ・ 不妊治療費の補助
- ・ 地域の人々との協力、助け合い、見守り



問6 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、男女がともに働きながら安心して子育てができる社会の実現のために、最も必要なものは何だと思いますか。

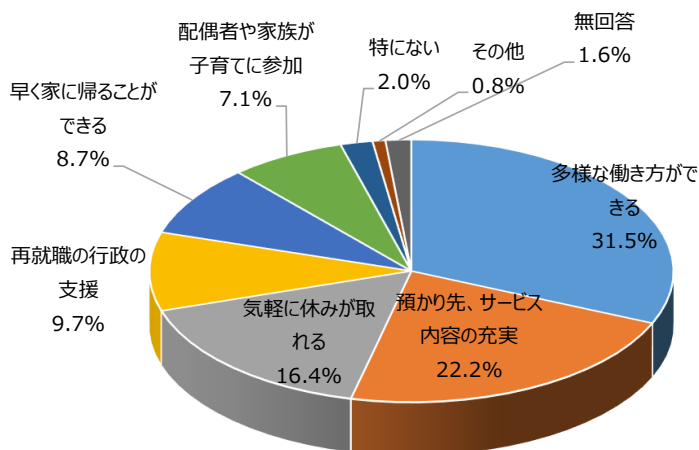
(最も必要なもの1つ)

	人 数	構成比
多様な働き方ができること（短時間勤務や在宅勤務など）	238	31.5%
子どもの預かり先（保育園、放課後児童クラブなど）やサービス内容が充実すること	168	22.2%
出産・子育てなど気軽に休みが取れること	124	16.4%
出産・子育てで退職しても再び働くことができるような行政の支援があること	73	9.7%
早く家に帰ることができること（時間外労働を減らすこと）	66	8.7%
配偶者や家族が子育てに参加すること	54	7.1%
特にない（わからない）	15	2.0%
その他	6	0.8%
無回答	12	1.6%
合 計	756	100.0%

※重複回答者あり

その他意見（主なもの）

- ・ 転勤がなく、子供達が岐阜県の生まれた地で高校生まで落ちついて教育が受けられること
- ・ 所得の向上
- ・ 子育てに関する地域のかかわりや見守り
- ・ 夫婦で子育ての協力



問7 その他、子育て環境に関する県の施策について、ご意見などがございましたらお聞かせください。

- ・ 出産祝金など金銭的にもっと援助があれば、産みたいという気持ちが高まると思う。
- ・ ひとり親家庭施策の積極的な情報発信をしてほしい。
- ・ 中学生までではなく、高校生まで医療費を無料にしてほしい。
- ・ 岐阜から離れて都会の大学に行くと、就職先がないため戻って来ないことが多い。故郷で子育てできる環境があると良い。
- ・ 岐阜県の子育て支援はとても充実していると実感している。
- ・ 県内の商業施設などに子育て専用の駐車場が少ない気がするため、子育て中の家族が利用できるように駐車場の台数をより多く確保してほしい。
- ・ 高等学校無償化について、所得制限が設けてあるが、子育て人数等を加味してほしい。
- ・ 子どもが3人以上いると普通乗用車が必要になるため、自動車税を軽減
- ・ 育休、家庭の事情での休み、短時間勤務への変更や負担が少ない業務への配置換え等は男女とももっとしやすくなってほしい。
- ・ 入所を希望した場合、直ぐに保育所へ入所できるような子育て環境の整備
- ・ 祖父母が近くに居ない家庭でも一時的に安心して気軽に預かってもらえる所があると良い。
- ・ 大学等の民間組織が実施している公開講座等の様に、子ども達が普段なかなか触れ合う機会の無い様な事柄に、実体験を通して興味・関心を持つきっかけを作り出していけるような施策
- ・ 20代から婚期を逃さないような啓発
- ・ 未婚化、晩婚化が顕在化している昨今、各市町村と共に若い層に対して出会いの場の提供などをしてほしい。